



「常磐線佐貫駅改称」に関する意見交換会の概要について

■問い合わせ：企画課地域戦略グループ ☎内線 361

市では、「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の重点施策に掲げる「子育て環境日本一」や「市民活動日本一」の取り組みに加え、賑わいの創出や定住促進、交流人口の増加を図るため、今年度から、佐貫駅周辺地域整備基本構想の策定や牛久沼を生かした道の駅の整備、「(仮称)駅前こども送迎ステーション」の設置など、さまざまな地方創生の取り組みを政策パッケージとして進めています。

「常磐線佐貫駅改称」は市の知名度を向上させ、こうした取り組みを市外に効果的に発信し弾みを付けるための手段の一つであり、定住促進や交流人口の増加に向けた基盤整備の一翼を担う重要な事業です。

この駅名改称をはじめとする地方創生の取り組みについて、市民の皆さんに説明し広くご意見をいただくため、5月24日と6月6日の2日間、コミュニティセンター4会場で「常磐線佐貫駅改称」に関する意見交換会を開催しました。その概要についてお知らせします。



意見交換会の様子

●参加者数 (のべ 353 人)

5月24日	城ノ内コミュニティセンター	49人	6月6日	馴柴コミュニティセンター	209人
	龍ヶ崎コミュニティセンター	44人		久保台コミュニティセンター	51人

●市民の皆さんから寄せられた主な意見など

<賛成の意見>

- ◎市の玄関口である常磐線の駅には、龍ヶ崎の表札を掲げるべき。
- ◎友人に龍ヶ崎の場所を説明するのに苦労する。早急に駅名を改称してほしい。
- ◎10年後、20年後の将来を見据えて考えてほしい。人口減少により大型店舗や企業の撤退なども考えられる。駅名改称は必要であり、もっとアピールすべき。
- ◎市の中心街がJRの駅から離れている。佐貫駅周辺地域を中心にまちを作り直すことが必要。
- ◎常磐線の駅を「龍ヶ崎駅」にして、関東鉄道竜ヶ崎駅を「龍ヶ崎市駅」にする。
- ◎常磐線の駅名を龍ヶ崎を冠した駅にすれば、佐貫地区を含め、市全体が発展する。龍ヶ崎市の将来を考えると、駅名を変えた方が良い。企業のメリットも大きい。
- ◎常磐線の駅の多くは自治体名が付けられている。3億3千万円をかけても、この機会を逃すべきではない。
- ◎駅名改称は、未来への投資である。 など



<反対の意見>

- ◎3億3千万の費用をかけるなら、他に使い道があるのではないか。
- ◎駅名や市名で住まいの地は選ばない。駅名とまちの発展はリンクしない。
- ◎駅名を改称して、市の認知度がアップし、人口が増加するのか。その前に、龍ヶ崎市を魅力あるまちにした方が良い。
- ◎駅名改称を中止することはできないのか。
- ◎JRとの協議の前に市民に説明すべきである。この段階で、意見交換会をする意味があるのか。
- ◎市民全員に対し、選挙(住民投票)を行ってほしい。
- ◎佐貫駅で慣れ親しんでいるので、駅名を変える必要はない。
- ◎駅名改称よりも、住みやすい環境をつくるのが大切。3億3千万円かけることは疑問。 など



<その他の意見>

- ◎駅名改称の経済効果および関連経費に関すること
- ◎駅名改称の経緯に関すること
- ◎市町村合併に関すること など

駅名改称の取り組みについては、今後も適時市民の皆さんにお知らせするとともに、引き続き市民の皆さんのご理解を得られるよう対話を続けていきます。

なお、意見交換会の内容などについては、市公式サイトでご覧いただけます。